

【木津川市】
校務 DX 計画

1. 趣旨

本市においては、学習系ネットワークをパブリッククラウド一部運用しており（学校内のサーバーと併用）、クラウド型の授業支援ソフトやオンライン学習ツール、オンラインストレージ等を活用し、教室だけでなく、家庭等のネットワーク環境が整備された場所で1人1台端末を活用することができる。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとする。

2. 木津川市における課題と校務 DX に向けた取組について

（1）FAX、押印の原則廃止について

FAXの使用は最小限にとどめるとともに、申請書等への押印の義務付けを廃止する等、校務の効率化を図っている。

（2）クラウドツールの活用について

学校と保護者との連絡については、保護者連絡ツールを導入し、学校から保護者へ配付物の配信、保護者から学校へオンラインアンケートに回答するなど、学校と保護者の連絡をデジタル化している。

学校内の教職員間の連絡は、クラウドツールを活用し、職員会議の資料をクラウド上で共有し会議のペーパレス化を図ったり、職員間の情報共有や連絡にチャット機能を活用したり、教職員が作成した教材等をクラウド上で活用できるデジタル環境を整備している。

（3）校務系・学習系ネットワークの統合について

今後は、教育ICT基盤のフルクラウド化も念頭に置きながら、統合型校務支援システムの活用と合わせて次世代型ネットワークの構築を、木津川市全体のネットワーク構築と足並みをそろえながら進めていく。